

## 気候情報

# 2003年12月の日本の天候

高温（北日本）、少雨（南西諸島）

### 12月の天気概況

低気圧が数日の周期で通過し北日本の東海上で発達することが多かったため、北日本では上旬後半を除き冬型の気圧配置に伴う寒気の影響は小さく、気温の高い日が多かった。東日本以西も全体に気温の高い日が多かったが、西日本や南西諸島では、中旬を中心に寒気の影響を受けやすく気温の変動が大きかった。冬型の気圧配置は全般に長続きせず、北日本や東日本の日本海側の降雪量は少なかった。

**上旬：**上旬初めに本州の東海上を通過した台風第21号に吹き込む南の暖気の影響で全国的に極端な高温となった。その後台風は温帯低気圧となってアリューシャン付近で停滞し北日本中心に冬型の気圧配置となることが多くなり北海道では低温となった。一方、東日本以西では冬型の気圧配置は長続きせず、気温の高い日が多かった。天気は低気圧の影響を受けやすかった東日本を中心に曇りや雨の日が多かった。**旬平均気温**は、北日本で平年並のほかは高かった。**旬降水量**は、東日本の太平洋側で多く、西日本の日本海側で少なかったほかは平年並だった。**旬日照時間**は、北日本の太平洋側と東日本で少なく、西日本の太平洋側で多く、その他は平年並だった。

**中旬：**低気圧が本州付近を数日の周期で通過し、北日本の東海上で発達することが多かった。このため通過後の冬型に伴う寒気が西日本中心に南下することが多くなり、西日本以西では気温が低く、北日本では気温の高い日が多かった。天気は北日本の日本海側で晴れの日が多かったほかは、低気圧や冬型の影響でほぼ全国的に曇りや雨または雪の日が多かった。**旬平均気温**は、北日本で高く、東日本は平年並、西日本、南西諸島は低かった。**旬降水量**は、北日本の日本海側、東日本、西日本で多く、その他は平年並だった。**旬日照時間**は、北日本の日本海側で多く、東日本の太平洋側で平年並のほかは少なかった。

**下旬：**冬型の気圧配置は長続きせず、高気圧に緩く覆われることが多かったため西日本以西を中心に晴れの日が多かった。また、中旬同様に一時的にあった寒気の南下も西日本以西が中心で、このため北日本では極端な高温となることが多かった。**旬平均気温**は、北日本、東日本で高く、西日本、南西諸島は平年並だった。**旬降水量**は、北日本の太平洋側、西日本、南西諸島で少なく、その他は平年並だった。**旬日照時間**は、北日本で少なく、東日本の日本海側で平年並のほかは多かった。

### 12月の気候統計

**平均気温：**西日本と南西諸島の一部で平年を下回ったところがあったほかは、全国的に平年を上回った。

特に東北では平年を2℃以上上回ったところがあった。

**降水量：**北海道の日本海側、東海、西日本の太平洋側、南西諸島で平年を下回ったほかは平年を上回ったところが多かった。

**日照時間：**北海道の日本海側、九州の太平洋側、南西諸島で平年を上回った。北海道の日本海側では平年の140%以上となったところがあったほかは、宮崎(宮崎県)では12月の日照時間の最大値を更新した。そのほかの地方では平年を下回ったところが多かった。

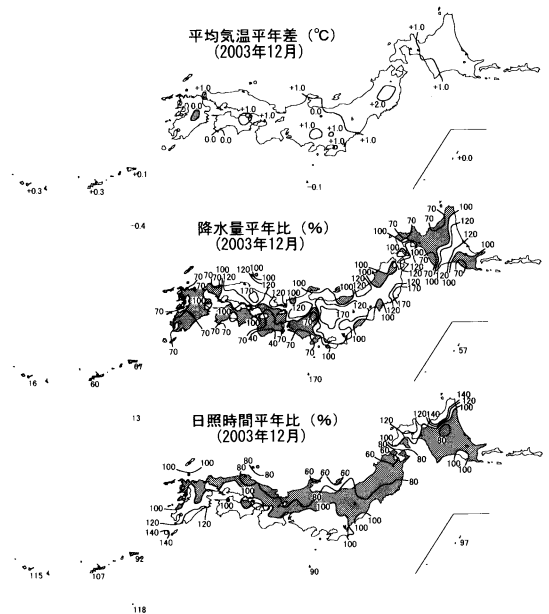
**積雪・降雪：**降雪の深さ合計、最深積雪ともに北海道・東北の日本海側、北陸の一部で平年を下回った。甲信、東海の一部で平年を上回ったほかは平年並のところが多かった。軽井沢(長野県)、前橋(群馬県)、尾鷲(三重県)で12月の降雪の深さ月合計値の最大値を記録した。また、軽井沢(長野県)、尾鷲(三重県)、清水(高知県)で12月の月最深積雪の最大値を記録した。

(気象庁観測部統計室)

### 12月の記録（1位更新のみ）

- ・月間日照時間の多いほうから（時間）  
宮崎 237.4
- ・降雪の深さ月合計値多いほうから（cm）  
軽井沢 80 前橋 14 尾鷲 1
- ・月最深積雪大きい方から（cm）  
軽井沢 61 尾鷲 1 清水（高知県） 2

### 2003年12月の平年差（比）図



注) 陰影の部分は、平年より低い(少ない)地域を示す